

# バスケットで地域活性化

## 多治見市にbjリーグ公認スクール

4日開校

プロバスケットボールリーグ「bjリーグ」公認のバスケットスクール「bjアカデミー岐阜多治見校」が6月4日に開校する。bjアカデミーの設立は県内初。運営主体の「スポーツクリエーション岐阜」(多治見市滝呂町)は、3年後にはbjリーグのサテライトリーグに参戦できるチームを誕生させ、「バスケット」による地域活性化を目指す。  
(岡田敬史)

### リーグ参戦を目指す

bjリーグは子どもらの技術向上と選手のスーパースターの拡大などを目的にアカデミー事業を展開中。現在、全国に55の公認スクールがある。

多治見校は、幼児から中学生までを対象に定員10〜20人程度の7クラスを開設する予定。bjアカデミーコーチ陣が個人のスキルアップに特化した指導を行う。

運営主体のスポーツクリエーション岐阜は、バスケットで地域を盛り上げようと、多治見市内の10事業所が出資して4月に発足、一般



bjリーグ公認のバスケットスクール「bjアカデミー岐阜多治見校」の開校を発表する曾根康正代表理事(左)ら。多治見市役所

社団法人岐阜スポーツアカデミーを設立しスクールを運営する。選手育成などを足掛かりに、bjリーグが9月からスタートさせる地域ブロックごとに開催するサテライトリーグ「チャレンジリーグ」に参戦するチームの結成を目指す。

アカデミーの曾根康正代表理事は「将来、地域活性化につながるには多治見にプロがいてほしい」と話し、バスケットチームを誕生させた。